

## 平成25年度 第4回調査・研究企画会議 議事概要

1 日時：平成25年9月25日（水） メール開催

2 出席者（8名）五十音順

圓藤 陽子（(独)労働者健康福祉機構関西労災病院  
勤労者医療総合センター・産業中毒センター長）

尾崎 博（国立大学法人東京大学農学部教授）

鬼武 一夫（日本生活協同組合連合会 品質保証本部安全政策推進部部長）

熊谷 進（食品安全委員会 委員長）

◎佐藤 洋（食品安全委員会 委員長代理）

品川 邦汎（岩手大学特任教授）

三森 国敏（食品安全委員会 委員長代理）

山添 康（食品安全委員会 委員長代理）

（◎：座長）

3 議題

平成24年度終了食品健康影響評価技術研究課題の事後評価結果（案）について

4 議事概要

平成25年5月24日の第1回調査・研究企画会議及び同年6月4日の第2回調査・研究企画会議においてヒアリング審査（事後評価）を実施した以下の平成24年度終了課題（11課題）の事後評価結果（案）について審議され、一部文言を修正した上で、食品安全委員会へ報告することが了承された。

- ①1001：遺伝子発現モニターマウスを用いた発達期脳に対する化学物質暴露影響評価法の開発（森寿 富山大学）
- ②1002：フタル酸エステルの生殖・次世代影響の健康リスク評価に関する研究（那須民江 中部大学）
- ③1003：食品中化学物質への胎生～新生期暴露が情緒社会性におよぼす影響評価手法の開発（佐藤薫 国立医薬品食品衛生研究所）
- ④1005：食品中ナノマテリアルの腸管吸収及び体内動態の特性を利用したリスク評価手法の開発（堤康央 大阪大学）
- ⑤1006：グリシドール脂肪酸エステルおよび3-MCPD 脂肪酸エステルの安全性評価に関する研究（小川久美子 国立医薬品食品衛生研究所）
- ⑥1007：用量反応性評価におけるベンチマークドース法の適用に関する研究（広瀬明彦 国立医薬品食品衛生研究所）

- ⑦1008 : ナノ物質の経口暴露による免疫系への影響評価手法の開発（蜂須賀暁子 国立医薬品食品衛生研究所）
- ⑧1009 : トランス脂肪酸による動脈硬化性疾患の発生機序の解明と健康影響評価手法の確立（平田健一 神戸大学）
- ⑨1105 : 日本における農薬等の急性参照用量設定のためのガイダンス作成に関する研究（吉田緑 国立医薬品食品衛生研究所）
- ⑩1106 : 食品中のアルミニウムの神経発達系への影響など、新生児発育に対するリスク評価研究（吉田優 神戸大学）
- ⑪1107 : 胎児移行性における種差を反映したヒト胎児毒性リスク評価手法の開発（登美齊俊 慶應義塾大学）

—以上—

（注：本会議は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。）